

令和6年度 学生による地域フィールドワーク研究助成 中間報告書

大学等名：富山国際大学

代表学生：林遥

指導教員：川本聖一

<p>研究題目 (応募部門)</p>	<p>地域の人々と進める空き家リノベーションによる実践教育 (F)</p>
<p>研究概要</p>	<p>この実践教育プログラムは、実際に建設プロジェクトを体験する。その中で学生は、世代の異なる地域の方々とのコミュニケーション取ることにより、そのプロジェクトを遂行していく。「建設行為」というプロセスは、ひとつのプロセスではなく、企画・基本計画・発注・基本設計・実施設計・工事・検査と、いくつかのプロセスであり、このプロセスの間に行政協議、品質確認、意思決定、金額調整、契約といった行為が含まれる。この一連のプロセスが建設プロジェクトである。川本研究室では、空き家を利用した建設プロジェクトを学生が理解しやすいように、①事業企画～⑩事業結果報告まで10工程に整理している。このプロセスを学生は実践教育として体験していく。</p>
<p>これまでの活動状況と今後の活動予定 (300字程度)</p>	<p>いくつかのプロジェクトのうち、下記を報告する。          黒部市：こどもの居場所「ニコニコ夢食堂」(詳細は別紙)          黒部市で行っているこどもの居場所「ニコニコ夢食堂」プロジェクトでは、研究室の4年生(朝野峻平くん、林遥さん)が中心となり進めて来ました。キッチンスペースのリノベーション工事が終了し、4月24日、お世話になった地域住民の方々を招いて、活動の成果報告会を実施しました。2人は地域の方々に対して、自信をもって堂々と今までの行ってきた「コーポレトリノベーション」の取り組みを発表しました。  <a href="https://www.tuins.ac.jp/2024/08/16058/">https://www.tuins.ac.jp/2024/08/16058/</a>  <a href="https://www.tuins.ac.jp/2024/04/14901/">https://www.tuins.ac.jp/2024/04/14901/</a>          射水市：中央町プロジェクト(詳細は別紙)          新湊で行っている「射水市中央町プロジェクト」では、2025年2月のゲストハウス開業を目指しています。学生は図面の作成やコンセプトづくり、仕上げ工事などを担当しています。7月23日は近隣の方々を招いて工事状況の見学会を行いました。4年生の敷土裕清くんが中心になり、自分で提案した竹を用い</p>

	<p>てデザインした中庭を説明し、「京壁」の塗装方法を実演して地域の方々にお見せしました。</p> <p><a href="https://www.tuins.ac.jp/2024/07/15833/">https://www.tuins.ac.jp/2024/07/15833/</a></p>
<p>当初予定と変更がある場合は変更点を記述ください。</p>	<p>変更なし</p>

「ニコニコ夢食堂」

**空き家活用  
成果報告 & 活用案発表会**

空き家所有者さん必見

あなたの空き家を一緒に活用しませんか？

私たちは、事業者、大学、設計事務所の3者が協力し合い、国土交通省の「空き家対策モデル事業」に取り組んで参りました。空き家を活用した「子どもたちの居場所」プロジェクトの成果報告と今後の活用案の発表会を開催いたします。活用案の発表では、空き家活用の新しいアイデアを聞いて頂けます。皆様のご参加をお待ちしております。

会の内容

写真 1



写真 2



写真3

### 「射水市中央町プロジェクト」



写真1 (提案した竹の壁)



写真2 (京壁塗装)